

Steinway Piano Recital Komaba, The University of Tokyo

2009年6月23日(火)18時30分(開場18時)

18:30 P.M., 23 June (Tue), 2009

コミュニケーション・プラザ 音楽実習室
Music Practice Room, Communication Plaza, Komaba

中村誠一・ジャズ・カルテット Seiichi Nakamura Jazz Quartet

中村誠一(サクソ)
Seiichi Nakamura (Sax)

吉岡秀晃(ピアノ)
Hideaki Yoshioka (Piano)

沼田 励(ベース)
Tsutomu Numata (Bass)

太田耕平(ドラム)
Kohei Ota (Drums)



Seiichi Nakamura



Hideaki Yoshioka



Tsutomu Numata



Kohei Ota

東京大学教養学部ピアノ演奏会

入場無料(100名) Admission free (100 seats)

※入場いただけるのは、教養学部・総合文化研究科・理学部数学科・数理科学研究科の学生・教職員です。駒場博物館(アドミニ棟脇)で整理券をお申し込みください。

Admission restricted to students and faculty of Komaba campus. Reservation tickets to be obtained at Komaba Museum (next to Administration Office Building).

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 ピアノ委員会
Tel 03-5454-6139 (駒場博物館)

サクソ、クラリネット：中村誠一

Sax, Clarinet: Seiichi Nakamura

1947年東京生まれ。クラリネットを大橋幸夫氏に、サクソを石渡悠史氏に師事。国立音大サクソ科卒。在学中より山下洋輔トリオでデビュー、フリージャズを演奏。その後、自己のグループ、ジョージ川口NewBig4で活動。1978年渡米、ジョージ・コールマンに師事。「中村照夫とライジングサン」で、ポップ・ミンツアーなどと出演。帰国後、NTV『今夜は最高』にタモリと出演。2001年から吉岡秀晃とバンドBoNoBo Landで活動。現在、自己のバンドでデュオから多人数編成まで、様々なユニットでジャズクラブやコンサートに出演する傍ら、洗足学園音楽大学教授をつとめる。

1970年代から筒井康隆、赤塚不二夫、タモリ、平岡正明、唐十郎といった文化人と交遊。ハナモゲラの起源は、1972年に中村がこれらの友人たちとの遊びの中で思いついた芸「初めて日本語を聞いた外国人の耳に聞こえる日本語の物真似」にあるとされ、ハナモゲラの手法により実験的短篇小説『幻の戦士 鈴唐毛の馬慣れ』を執筆。古典落語の名場面を脈絡なくつなぎ合わせ早口で演じる「フリー落語」も行う。

主要アルバム：『だろ！』（2003）、『セレナータ』（2005）、『SUNGLASS』（2008）。著書：『サクソ吹き男爵の冒険』（晶文社、1982）、『サクソ吹きに語らせろ！』（新潮社、1986）、『中村誠一のジャズ・サクソ・レッスン』（ドレミ楽譜出版社、2000）。

ピアノ：吉岡秀晃

Piano: Hideaki Yoshioka

1960年宮崎県延岡市生まれ。8歳でピアノとバイオリンに出会う。高校在学中、プログレッシブロックの洗礼を受け、ジャズにも興味を抱く。1979年来日したレッド・ガーランド・トリオのジャミル・ナッサー (b)、ジミー・コブ (ds) と共演。ガーランドに絶賛される。1981年上京。1990年初リーダー作『here we go』。『anytime anyway』（1991）でスイングジャーナル誌選定ゴールドディスク。1996年インターナショナルジャズパーティ（ロサンゼルス）で、アンドリュー・シンプキンス、ルー・タバキン、ジェフ・ハミルトン他多数と共演。2000年、ナッサー、コブと『Moment To Moment』発表。ニューヨークタイムズで賞賛され、スイングジャーナル誌主催第34回、ジャズディスク大賞製作企画賞受賞。他に、『always』（1992）、『strong man』（ソロ、1994）、『doin' it right』（ライブ、1999）。「日本が生んだファンキー・ジャズの達人」（ロサンゼルスタイムズ）。

ベース：沼上 励

Bass: Tsutomu Numata

1954年東京生まれ。小6の時、新宿PIT INNで渡辺貞夫の演奏を聴きジャズに興味を持つ。高2からウッドベースを始める。20歳の高校の時より一緒に演奏していたギターの上貴昭トリオにてプロデビュー。1987年、スイスのモントルー・ジャズ祭出演。共演者は、大野雄二、大井貴司、吉岡秀晃、ジミー・コブ、松本英彦、ジョージ川口、中村誠一など多数。

ドラム：太田耕平

Drums: Kohei Ota

1980年東京生まれ。幼少より音楽に親しみ、13歳でディープ・パープルに衝撃を受けドラムを始める。早大入学後ジャズに傾倒。宮之上貴昭バンドのレギュラードラマーとしてデビュー。2006年、同グループでアメリカのサンホセ・ジャズ祭出演。主要アルバム：『うずねいるミュージアム』（2007）、『うずまきパラダイム』（2008）。

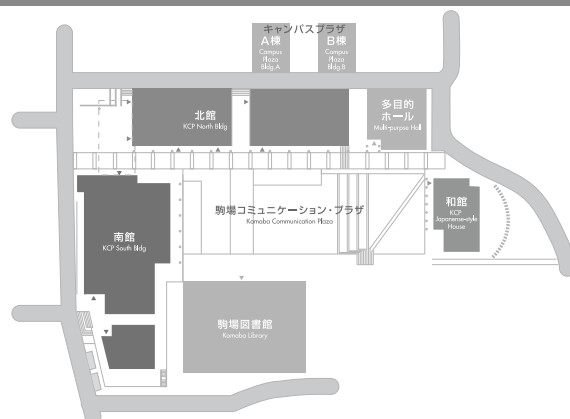
申込方法と会場のご案内

※ご入場いただけるのは、教養学部・大学院総合文化研究科・理学部数学科・大学院数理科学研究科の学生・教職員のみです。

学生、教職員ともに、申込書と入場整理券に必要事項をご記入の上、駒場博物館事務室までお持ちください。入場整理券に押印いたしますので、当日ご持参ください。申し込み受付時間は月～金（祝日を除く）の10時から18時です。

なお教職員の方は、当日会場受付にて、寄付金（一口1,000円、一口以上）を申し受けます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。学生の入場は無料ですが、寄付は歓迎いたします。当日受付でお申し出下さい。

主催：東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 ピアノ委員会
問合せ：電話 03-5454-6139（駒場博物館）



駒場コミュニケーションプラザ
北館・2階 音楽実習室 (P201A)

申込書

氏名： _____ 学生／教職員

所属： _____ 研究科・学部

専攻・系・学科・科類・課

入場整理券

2009年 月 日

様 学生／教職員

東京大学大学院総合文化研究科長・教養学部長

※印のないものは無効です。